

# 諏訪小だより

令和7年5月30日  
多摩市立諏訪小学校  
校長 斎藤 幸之介  
6月号

## 「カモノハシみたい」－新幹線の先頭車両の形状を見た卒業生のつぶやき

校長 斎藤幸之介

5月の半ばを過ぎてから気温が上がる場合が増えました。ここからしばらくの間は「熱中症指数」を小まめに点検しながら、子供たちが適切に活動する環境を選択し、教育活動に当たっていきたいと思います。お恥ずかしいですが、最近頻繁に聞くようになった「暑熱順化」を念頭に置きながら、子供たちが暑さに対処できるようにもしたいと考えています。日によっては寒さすら感じることもあって対応すべき点が多くございますが、御家庭での御子様の健康管理をお願いしたく存じます。

さて、本日は昨年度の卒業生のあるつぶやきを捉えながらお伝えをしたいと思います。

三浦侑也さんは、時々校長室を訪ねた一人であります。ユーモアあふれる侑也さんの会話によく笑ったことを深く記憶しています。卒業式の証書授与時に「元気で」と声をかけると大きくうなずいた姿も印象的でした。

さて、三浦さんは卒業も近くなった2月のある日、次のつぶやきをしています。

### 「カモノハシみたい」

校長室には、いくつかの新幹線型の弁当箱があります。かつて私が購入したものに、現在は過去に社会科見学で頂戴したミニカーやクリップなどを入れています。

三浦さんは、その日、東北新幹線の弁当箱を見つめ、そして「カモノハシみたい」とつぶやきました。「なるほど」。そして、その場で検索をしてみました。「新幹線 カモノハシ」。

少しくどくなりますが、カモノハシと言われる先頭車両は東海道新幹線なのだと思います。これと大いに似ている東北新幹線は「水鳥のくちばし」に似ていて「ダブルカスプ」と言われるそうです。いずれにせよ、動物の特徴に着目した三浦さんのつぶやきの素晴らしさに、私は驚きました。

### なぜ「カモノハシ」？

三浦さんのつぶやきを受け、私は新幹線の先頭車両の形がなぜ「カモノハシ」などと言われるかを調べてみました。

1964年に開通した東海道新幹線の先頭車両は「団子鼻」とも言われ、そんなに尖ったイメージはもちません。しかし、スピードを追い求めていくと様々な課題を解決していくかなければなりません。

例えば、新幹線がトンネルに入るとき、反対側の出口ではものすごい音がするそうです。トンネル内の空気が圧縮されたことによる音で

す。これを解決するためには、新幹線が空気をうまく「かき分ける」ことが必要であると分かりました。その後先頭車両はどんどん長くなりますが、そうすると今度は座席数が少なくなったり駅のホームの長さが車両に合わなくななりそうになつたりしたそうです。そして、この課題を解決しながら適切な先頭車両の形の原型は「カモノハシ」であり「水鳥のくちばし」であった、というわけです。

ちなみに、これは「流体力学」という学問による探究でもあるそうです(参考:『新幹線は、なぜ「カモノハシ型」に進化したか?』(小川隆申)、株式会社フロムページ夢ナビ編集部)。つまり、三浦さんが新幹線の形から見抜いたことはこの学問に通じる、とも言えます。

### 「カモノハシ」と感じる心を求めて

三浦さんは、新幹線の形を見て「カモノハシみたい」と捉えました。「なぜ「カモノハシ」に見えた?」という質問はしていません。しかし、三浦さんは、過去に経験したことを基に「ハッ」と気付いたのでしょう。きっと私がかつて受けたある研修会「人間の思考は比較から始まる」と言った研究者がいました。三浦さんは「新幹線の先頭車両」を見ながら「カモノハシ」を思い出して比べ、「似ている!」と強く思ったのでしょう。それこそ一瞬の中で物事を深く感じる三浦さんの心、つまり感性の素晴らしさに感心をします。

授業の中で、三浦さんのような感性を発揮させて「なるほど!」と思い、「どうして?」と追究する姿は、正直なかなか見出せない、と本校の教職員は悩んでいます。そして、これを解決するために、教材を選んでその提示の仕方を考え、子供たちに問いかけるその文言を吟味し、調べる際に活用できる資料を出せるようにします。時に体験的な活動を組み入れ、また外部の人々の話を聞く機会を設ける場合もあります。その中で、子供たちの感性を磨きたい、と考えています。

しばらくすると、「夏チャレ」、夏の自由研究の準備も始まります。そのときに、三浦さんのような豊かな感性に基づく追究が展開できることを思いながら子供たちに働きかけていきます。子供たちの感性に触れられたときの感動は私共の宝、と言っても言い過ぎではありません。難しいけれど、これを目指していきたいと思います。

保護者の皆様、御家族の方々に改めて御理解と御協力を賜りたく存じます。

## 「はたらく消防の写生会」

4月28日（月）に1・2年生が消防自動車の写生会を行いました。過ごしやすい気候の中、消防士さんのお話を受け、1年生は画用紙に、2年生は机ほどの大きさのボール紙に力いっぱい消防車を描きました。

赤いクレヨンで丁寧に色を塗り、時間に余裕がある児童は消防士さんも加えました。最後まで集中して製作を行い、すてきな作品を完成させました。

## 「交通安全教室」

2年生は、5月9日（金）に交通公園に行きました。昨年度の復習となる学びに加え、自転車に乗るときの安全確認や交通安全についてのペーパーテストにも挑戦しました。全員が合格し、「多摩市自転車運転免許証」をいただきました。

保護者の皆様には、持ち物の準備等の御協力をいただき、ありがとうございました。今後とも教育活動への御理解と御協力をお願いいたします。

## 「交流・共同学習」

4月、新たな学年がスタートしました。なかよし学級の子供たちは通常学級の子供たちと一緒に「学年開き」を行いました。今年度一緒に生活していく仲間と共に、各学年が目指す児童の姿を共有しました。様々な学習活動や各行事に加え、特に高学年は委員会、クラブ活動などでも交流を深めていきます。